



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社アルゴグラフィックス 上場取引所 東
 コード番号 7595 URL <https://corp.argo-graph.co.jp>
 代表者（役職名）代表取締役会長執行役員（氏名）藤澤 義麿
 問合せ先責任者（役職名）取締役専務執行役員管理本部長（氏名）長谷部 邦雄 TEL 03-5641-2018
 定時株主総会開催予定日 2026年6月18日 配当支払開始予定日 2026年6月19日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月19日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	71,526	2.9	10,745	5.3	11,419	4.6	19,190	157.7
2025年3月期	69,541	16.9	10,199	11.2	10,919	12.7	7,447	14.2

（注）包括利益 2026年3月期 13,102百万円（38.3%） 2025年3月期 9,471百万円（△8.7%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	263.53	—	36.2	13.6	15.0
2025年3月期	87.39	—	13.9	13.5	14.7

（参考）持分法投資損益 2026年3月期 61百万円 2025年3月期 60百万円

（注）当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行ったため、2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	80,966	51,378	60.3	710.03
2025年3月期	86,490	59,669	66.1	671.01

（参考）自己資本 2026年3月期 48,787百万円 2025年3月期 57,188百万円

（注）当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行ったため、2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算出しております。

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	4,663	12,947	△21,447	32,213
2025年3月期	6,458	△176	△2,256	35,903

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	50.00	—	60.00	110.00	2,393	31.5	4.4
2026年3月期	—	80.00	—	60.00	—	5,648	30.4	11.6
2027年3月期（予想）	—	32.00	—	33.00	65.00		62.0	

（注）1 当社は、2025年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期1株当たり期末配当金につきましては当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、1株当たり年間配当金合計は「—」としております。

2 2026年3月期期末配当額は、特別配当40円00銭を含んでおります。

3 2027年3月期年間配当額（予想）は、特別配当20円00銭（中間配当10円00銭、期末配当10円00銭）を含んでおります。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	72,600	1.5	10,300	△4.1	10,600	△7.2	7,200	△62.5	104.78

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期	80,000,000株	2025年3月期	89,416,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期	11,287,408株	2025年3月期	4,189,508株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	72,820,884株	2025年3月期	85,217,689株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	59,658	2.4	8,648	6.8	10,903	12.0	19,522	170.9
2025年3月期	58,251	19.6	8,097	12.7	9,730	13.8	7,206	15.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
2026年3月期	円 銭 268.09	円 銭 —
2025年3月期	84.57	—

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行ったため、2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年3月期	百万円 70,070	百万円 43,815	% 62.5	円 銭 637.66
2025年3月期	75,349	52,019	69.0	610.37

(参考) 自己資本 2026年3月期 43,815百万円 2025年3月期 52,019百万円

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行ったため、2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算出しております。

2. 2027年3月期の個別業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	60,000	0.6	9,700	△11.0	7,184	△63.2	104.55

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
(4) 事業等のリスク	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(連結損益計算書)	8
(連結包括利益計算書)	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(表示方法の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度における我が国経済は、官民において様々な物価・所得改善施策が講じられてきたものの、ウクライナや中東情勢の緊迫化、米国の関税政策や日中関係の摩擦拡大などにより、原材料の供給不足や物価上昇の懸念が高まり、今後の経済情勢について一段と不透明感が強まりました。

このような環境のもと、当連結会計年度の業績は、売上高は71,526百万円（前期比2.9%増）、営業利益は10,745百万円（同5.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は19,190百万円（同157.7%増）となりました。

売上高を製品区分別にご説明いたしますと、次のとおりであります。

セグメント区分	サービス区分	前連結会計年度		当連結会計年度		比較増減	
		売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
PLM事業	PLMソリューション	39,597	56.9	41,482	58.0	1,885	4.8
	システム構築支援	24,869	35.8	24,844	34.7	△24	△0.1
	HW販売に付帯する 保守・その他	3,065	4.4	3,162	4.4	96	3.1
	小計	67,532	97.1	69,489	97.2	1,956	2.9
EDA事業	EDAソリューション	2,008	2.9	2,036	2.8	27	1.4
	合計	69,541	100.0	71,526	100.0	1,984	2.9

上記の表においては、セグメント間の取引金額を相殺して表示しております。

以下、セグメント別の概要をご報告いたします。

〔PLMソリューション〕

主要顧客である自動車関連業界は、期初からの米国による関税影響への懸念や、中国EVの台頭が著しい環境下にある中、欧米を中心にEV一辺倒の潮流に変化が生じ、ハイブリッド車の見直し等が進んだことから、開発強化に向けたIT投資は堅調に推移しました。その結果、前連結会計年度比1,885百万円（4.8%）増加し、41,482百万円となりました。

〔システム構築支援〕

半導体需要の拡大及び世界的な生産増加が続く中、国内生産拠点におけるIT設備投資の高まりに加え、政策支援等を背景とした設備投資も堅調に推移し、ハードウェアを中心としたソリューションが大きく伸長したことで前期大型案件の影響を低減いたしました。その結果、前連結会計年度比24百万円（0.1%）減少の24,844百万円となりました。

〔HW販売に付帯する保守・その他〕

PLMソリューション及びシステム構築支援におけるハードウェア販売が増加したことに伴い、保守案件も増加したことから、前連結会計年度比96百万円（3.1%）増加の3,162百万円となりました。

〔EDAソリューション〕

デバイス設計委託ビジネスが堅調に伸長し、前連結会計年度比27百万円（1.4%）増加し、2,036百万円となりました。

[次期の見通し]

現時点で見込まれる次期の見通しは下記のとおりです。

日本および世界経済は、地政学リスクの高まりや政治・経済の不安定化、原材料価格の上昇等を背景に、不透明な状況が続いております。加えて、少子高齢化の進展や人口動態の変化、サステナビリティ経営や人的資本経営への社会的要請の高まりなど、企業を取り巻く環境は大きく変化しております。当社の主要顧客である自動車関連業界においては、EV化・自動運転などいわゆるCASE対応に伴う技術革新や競争激化が進行しており、半導体・精密機器分野においても、生成AI、データセンター需要拡大等を背景とした投資が拡大する一方、市況変動による投資抑制リスクも内在しております。当社は、こうした事業環境の変化を重要な経営課題として認識し、市場動向を的確に捉えながら、持続的な成長と業績の安定に取り組んでまいります。

以上の認識に基づき、現時点での次期業績予想を下記のとおりといたしました。

[連結通期業績予想]

売上高	72,600百万円
営業利益	10,300百万円
経常利益	10,600百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	7,200百万円

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度における資産合計及び負債純資産合計は、以下の要因により、前連結会計年度末に比べ5,524百万円減少し、80,966百万円となりました。

(イ) 資産

流動資産は、現金及び預金が5,347百万円減少、受取手形、売掛金及び契約資産が4,298百万円増加、電子記録債権が1,523百万円減少、商品が75百万円増加、仕掛品が10百万円減少、その他が859百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末比1,647百万円減の60,144百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が4,575百万円増加、無形固定資産が48百万円減少、投資その他の資産のうち、投資有価証券が8,456百万円減少、繰延税金資産が38百万円増加、その他が15百万円増加したことにより、前連結会計年度末比3,876百万円減の20,821百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、買掛金が679百万円増加、未払法人税等が4,918百万円増加、賞与引当金が15百万円増加、役員賞与引当金が22百万円減少、前受金が271百万円減少、その他が241百万円増加したことにより、前連結会計年度末比5,561百万円増の25,717百万円となりました。

固定負債は、株式給付引当金が61百万円増加、役員株式給付引当金が23百万円減少、繰延税金負債が2,824百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比2,794百万円減の3,869百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比2,767百万円増の29,587百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産は、資本剰余金が92百万円減少、利益剰余金が7,285百万円増加、自己株式が9,288百万円増加、その他有価証券評価差額金が6,440百万円減少、退職給付に係る調整累計額が42百万円増加、為替換算調整勘定が93百万円増加、非支配株主持分が109百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末比8,291百万円減の51,378百万円となりました。

② キャッシュ・フローについて

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ3,690百万円（同10.3%）減少し、32,213百万円となりました。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は4,663百万円となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益27,437百万円、減価償却費132百万円、のれん償却費54百万円、賞与引当金の増加額15百万円、退職給付に係る負債の増加額67百万円、株式給付引当金の増加額61百万円、前渡金の減少額398百万円、仕入債務の増加額679百万円であり、支出の主な内訳は、役員賞与引当金の減少額22百万円、役員株式給付引当金の減少額23百万円、売上債権の増加額2,775百万円、棚卸資産の増加額64百万円、その他の流動資産の増加額1,256百万円、前受金の減少額271百万円、未払消費税等の減少額271百万円、その他の流動負債の減少額136百万円、法人税等の支払額3,343百万円であります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は12,947百万円となりました。

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入4,552百万円、投資有価証券の売却による収入17,365百万円であり、支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出2,882百万円、有形固定資産の取得による支出4,054百万円、投資有価証券の取得による支出2,002百万円であります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は21,447百万円となりました。

収入の主な内訳は、自己株式の処分による収入400百万円であり、支出の主な内訳は、配当金の支払額2,711百万円、自己株式の取得による支出19,054百万円であります。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、「業績連動方式を基本とし、安定配当に配慮しつつ、連結配当性向を今中期経営計画の最終年度である2028年3月期に40%以上へ引き上げる」ことを配当方針としております。2026年3月期においては、投資有価証券の売却に伴う特別利益が発生したことを踏まえ、同事業年度の期末配当において1株当たり40円の特別配当を実施いたします。その結果、当期の配当は、普通配当100円（うち中間配当金80円）に特別配当40円を加えた140円といたします。なお、当社は2025年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っており、中間配当金80円は株式分割前の配当額、期末配当金60円（普通配当20円、特別配当40円）は株式分割後の配当額となります。

2027年3月期においては、普通配当を5円増配して1株当たり45円とし、連結配当性向は42.9%を予定しております。また、2026年3月期に発生した特別利益の株主還元について、「事業成長への投資」および「事業環境の変化に備えた財務健全性の維持」とのバランスを総合的に勘案した結果、2027年3月期および2028年3月期においても、それぞれ1株当たり20円の特別配当を実施いたします。

特別配当を加えた2027年3月期の年間配当は65円となり、連結配当性向は62.0%を予定しております。2028年3月期につきましても、普通配当に加え、本特別配当（1株当たり20円）を実施する予定です。

(4) 事業等のリスク

当社グループは、PLMソリューションの提供を主たる業務とする他、各種サーバー、PCクラスター等のシステム構築及びハードウェアの提供保守並びにEDAソリューションに係る業務を行っておりますが、当社グループの顧客は製造業が中心となっております。当社グループでは、製造業向けのソリューション提供を通じて習得した技術をベースに他産業における顧客の開拓に努めておりますが、依然として製造業向けの売上高比率が高い状況にあります。従いまして、製造業の情報化投資の規模が縮小された場合には、当社グループの財政状態及び経営成績は影響を受ける可能性があります。

また、主力製品である3次元設計システム「CATIA」を中心とする仕入先、フランスのダッソーシステムズ社の経営方針の大幅な変更、製品の評価により当社グループの財政状態及び経営成績は影響を受ける可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは国内の株主、債権者、取引先等であること、また連結財務諸表の期間比較可能性、企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,896,121	32,549,021
受取手形、売掛金及び契約資産	16,600,582	20,898,979
電子記録債権	2,945,210	1,421,988
商品	2,207,203	2,282,890
仕掛品	362,785	352,538
原材料及び貯蔵品	1,760	1,298
その他	1,778,786	2,638,123
流動資産合計	61,792,449	60,144,840
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	270,461	3,634,792
減価償却累計額	△73,680	△93,666
建物及び構築物（純額）	196,781	3,541,126
土地	127,405	156,186
建設仮勘定	567,682	158,605
その他	680,495	2,351,525
減価償却累計額	△478,480	△538,380
その他（純額）	202,014	1,813,145
有形固定資産合計	1,093,883	5,669,063
無形固定資産		
のれん	298,204	243,514
その他	45,295	51,199
無形固定資産合計	343,500	294,713
投資その他の資産		
投資有価証券	21,185,887	12,729,348
繰延税金資産	389,201	427,624
長期預金	900,000	900,000
その他	785,665	800,926
投資その他の資産合計	23,260,755	14,857,900
固定資産合計	24,698,138	20,821,677
資産合計	86,490,588	80,966,517

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,875,824	13,555,303
未払法人税等	1,898,876	6,817,807
賞与引当金	834,516	849,733
役員賞与引当金	141,000	119,000
前受金	3,064,385	2,792,799
その他	1,341,817	1,583,200
流動負債合計	20,156,419	25,717,845
固定負債		
退職給付に係る負債	3,082,870	3,084,608
株式給付引当金	467,092	528,413
役員株式給付引当金	174,989	151,912
繰延税金負債	2,824,768	—
その他	114,537	105,024
固定負債合計	6,664,258	3,869,957
負債合計	26,820,678	29,587,803
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,873,136	1,873,136
資本剰余金	2,136,715	2,044,255
利益剰余金	44,255,076	51,540,488
自己株式	△1,000,208	△10,288,775
株主資本合計	47,264,719	45,169,104
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,329,695	2,888,868
退職給付に係る調整累計額	191,905	234,307
為替換算調整勘定	401,875	495,646
その他の包括利益累計額合計	9,923,476	3,618,822
非支配株主持分	2,481,713	2,590,787
純資産合計	59,669,909	51,378,714
負債純資産合計	86,490,588	80,966,517

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	69,541,642	71,526,005
売上原価	51,673,194	52,745,643
売上総利益	17,868,447	18,780,362
販売費及び一般管理費	7,668,808	8,035,093
営業利益	10,199,639	10,745,268
営業外収益		
受取利息	118,848	146,897
受取配当金	398,408	496,494
投資有価証券売却益	44,528	—
持分法による投資利益	60,691	61,139
為替差益	11,179	—
その他	98,006	48,675
営業外収益合計	731,663	753,207
営業外費用		
投資有価証券売却損	2,341	—
投資事業組合運用損	6,721	28,321
為替差損	—	10,269
控除対象外消費税等	1,200	—
自己株式取得費用	—	38,217
その他	1,092	2,310
営業外費用合計	11,356	79,117
経常利益	10,919,946	11,419,358
特別利益		
投資有価証券売却益	—	16,032,714
特別利益合計	—	16,032,714
特別損失		
投資有価証券評価損	—	15,000
特別損失合計	—	15,000
税金等調整前当期純利益	10,919,946	27,437,072
法人税、住民税及び事業税	3,393,820	8,254,959
法人税等調整額	△89,513	△162,748
法人税等合計	3,304,307	8,092,210
当期純利益	7,615,639	19,344,862
非支配株主に帰属する当期純利益	168,178	154,451
親会社株主に帰属する当期純利益	7,447,460	19,190,410

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	7,615,639	19,344,862
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,535,496	△6,440,826
退職給付に係る調整額	45,886	42,402
為替換算調整勘定	252,557	148,203
持分法適用会社に対する持分相当額	22,099	7,384
その他の包括利益合計	1,856,039	△6,242,836
包括利益	9,471,678	13,102,025
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	9,232,801	12,913,241
非支配株主に係る包括利益	238,877	188,783

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,873,136	2,136,715	38,983,099	△1,010,423	41,982,527
当期変動額					
剰余金の配当			△2,175,483		△2,175,483
親会社株主に帰属する 当期純利益			7,447,460		7,447,460
自己株式の取得				△114	△114
株式給付信託による自己 株式の処分				10,329	10,329
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	5,271,976	10,214	5,282,191
当期末残高	1,873,136	2,136,715	44,255,076	△1,000,208	47,264,719

	その他の包括利益累計額				非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	退職給付 に係る 調整累計額	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	7,794,198	146,019	197,917	8,138,135	2,321,194	52,441,857
当期変動額						
剰余金の配当						△2,175,483
親会社株主に帰属する 当期純利益						7,447,460
自己株式の取得						△114
株式給付信託による自己 株式の処分						10,329
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)	1,535,496	45,886	203,957	1,785,340	160,519	1,945,860
当期変動額合計	1,535,496	45,886	203,957	1,785,340	160,519	7,228,052
当期末残高	9,329,695	191,905	401,875	9,923,476	2,481,713	59,669,909

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,873,136	2,136,715	44,255,076	△1,000,208	47,264,719
当期変動額					
剰余金の配当			△2,712,875		△2,712,875
親会社株主に帰属する 当期純利益			19,190,410		19,190,410
自己株式の取得				△18,616,000	△18,616,000
自己株式の消却		△9,385,747		9,385,747	—
株式給付信託による自己 株式の取得				△400,200	△400,200
株式給付信託による自己 株式の処分				42,850	42,850
株式給付信託に対する自 己株式の処分		101,163		299,036	400,200
利益剰余金から資本剰余 金への振替		9,192,123	△9,192,123		—
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	△92,460	7,285,412	△9,288,566	△2,095,614
当期末残高	1,873,136	2,044,255	51,540,488	△10,288,775	45,169,104

	その他の包括利益累計額				非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	退職給付 に係る 調整累計額	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	9,329,695	191,905	401,875	9,923,476	2,481,713	59,669,909
当期変動額						
剰余金の配当						△2,712,875
親会社株主に帰属する 当期純利益						19,190,410
自己株式の取得						△18,616,000
自己株式の消却						—
株式給付信託による自己 株式の取得						△400,200
株式給付信託による自己 株式の処分						42,850
株式給付信託に対する自 己株式の処分						400,200
利益剰余金から資本剰余 金への振替						—
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)	△6,440,826	42,402	93,771	△6,304,653	109,073	△6,195,580
当期変動額合計	△6,440,826	42,402	93,771	△6,304,653	109,073	△8,291,194
当期末残高	2,888,868	234,307	495,646	3,618,822	2,590,787	51,378,714

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	10,919,946	27,437,072
減価償却費	80,293	132,557
のれん償却額	193,963	54,689
賞与引当金の増減額 (△は減少)	70,734	15,216
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,000	△22,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	100,826	67,660
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	72,800	61,321
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	29,601	△23,077
自己株式取得費用	—	38,217
受取利息及び受取配当金	△517,257	△643,392
持分法による投資損益 (△は益)	△60,691	△61,139
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,111,043	△2,775,174
リース投資資産の増減額 (△は増加)	8,591	—
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△402,175	△64,978
前渡金の増減額 (△は増加)	△400,145	398,310
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	8,956	△1,256,156
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,361,377	679,479
前受金の増減額 (△は減少)	2,773	△271,585
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△186,586	△271,407
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△156,139	△136,369
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	15,000
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△16,032,714
その他	155,127	22,077
小計	9,161,952	7,363,607
利息及び配当金の受取額	515,112	642,740
法人税等の支払額	△3,218,606	△3,343,016
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,458,458	4,663,332
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,501,635	△2,882,070
定期預金の払戻による収入	5,064,575	4,552,160
長期預金の預入による支出	△900,000	—
差入保証金の差入による支出	△1,719	△17,958
差入保証金の回収による収入	4,331	6,599
有形固定資産の取得による支出	△698,584	△4,054,811
貸付金の回収による収入	29,400	1,200
無形固定資産の取得による支出	△25,858	△20,562
有価証券の償還による収入	500,000	—
投資有価証券の取得による支出	△501,710	△2,002,281
投資有価証券の売却による収入	65,561	17,365,050
投資有価証券の償還による収入	800,000	—
長期貸付けによる支出	△11,230	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△176,869	12,947,326
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△2,175,483	△2,711,070
非支配株主への配当金の支払額	△80,780	△82,133
自己株式の取得による支出	△114	△19,054,417
自己株式の処分による収入	—	400,200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,256,378	△21,447,420
現金及び現金同等物に係る換算差額	45,340	146,463
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,070,549	△3,690,298
現金及び現金同等物の期首残高	31,833,015	35,903,565
現金及び現金同等物の期末残高	35,903,565	32,213,267

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（表示方法の変更）

（連結貸借対照表関係）

前連結会計年度まで「建物」で表示していた科目を、「建物及び構築物」に変更しております。この科目変更は当連結会計年度において構築物を取得したために行ったものであり、前連結会計年度の「建物」に構築物は含まれておりません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

PLM事業は、当社グループの主要取引先である自動車、電機などの製造業を営む企業の設計及び生産部門に対してCADシステムを、研究開発部門に対してサーバー等を販売、サポートする事業であります。

EDA事業は、当社子会社である㈱ジーダットが開発した電子部品の設計に関するCADシステムについて、主に半導体業界を中心に販売、サポートする事業であります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	PLM事業	EDA事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	67,532,964	2,008,677	69,541,642	—	69,541,642
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,579	54,091	56,670	△56,670	—
計	67,535,543	2,062,768	69,598,312	△56,670	69,541,642
セグメント利益	9,942,648	256,990	10,199,639	—	10,199,639
セグメント資産	82,217,215	4,273,372	86,490,588	—	86,490,588
セグメント負債	26,141,571	679,107	26,820,678	—	26,820,678
その他の項目					
減価償却費	62,671	17,621	80,293	—	80,293
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	741,762	16,454	758,216	—	758,216
持分法適用会社への投資額	612,120	—	612,120	—	612,120

(注) 1 セグメント資産及び負債の調整額は、セグメント間取引に係る債権債務の相殺であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	PLM事業	EDA事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	69,489,760	2,036,244	71,526,005	—	71,526,005
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,019	5,359	7,378	△7,378	—
計	69,491,780	2,041,604	71,533,384	△7,378	71,526,005
セグメント利益	10,484,706	260,562	10,745,268	—	10,745,268
セグメント資産	76,639,635	4,326,881	80,966,517	—	80,966,517
セグメント負債	28,873,322	714,481	29,587,803	—	29,587,803
その他の項目					
減価償却費	115,013	17,543	132,557	—	132,557
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	4,716,938	6,073	4,723,011	—	4,723,011
持分法適用会社への投資額	675,298	—	675,298	—	675,298

(注) 1 セグメント資産及び負債の調整額は、セグメント間取引に係る債権債務の相殺であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	671.01円	710.03円
1株当たり当期純利益	87.39円	263.53円

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2 当社は、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っておりま
 す。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額、1株当たり当期純
 利益を算定しております。
 3 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりでありま
 す。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	7,447,460	19,190,410
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 （千円）	7,447,460	19,190,410
普通株式の期中平均株式数（株）	85,217,689	72,820,884

- (注) 2 株式給付信託（J-ESOP）及び株式給付信託（BBT）が所有する当社株式を、1株当たり当期純利益の算定上、
 期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（前連結会計年度1,801,632株（分割前
 450,408株）、当連結会計年度1,843,408株）

- (注) 3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額（千円）	59,669,909	51,378,714
純資産の部の合計額から控除する金額（千円）	2,481,713	2,590,787
（うち新株予約権（千円））	（—）	（—）
（うち非支配株主持分（千円））	(2,481,713)	(2,590,787)
普通株式に係る当連結会計年度末の純資産額（千円）	57,188,195	48,787,927
1株当たり純資産額の算定に用いられた 当連結会計年度末の普通株式の数（株）	85,226,492	68,712,592

- (注) 4 株式給付信託（J-ESOP）及び株式給付信託（BBT）が所有する当社株式を、1株当たり純資産の算定上、期
 末発行済株式総数の計算において控除する自己株式に含めております。（前連結会計年度1,792,800株（分割
 前448,200株）、当連結会計年度1,966,700株）

（重要な後発事象）

該当事項はありません。